

福井県家畜保健衛生所

〒918-8226 福井市大畑町 69-10-1

Tel: 0776-54-5104 Fax: 0776-54-5966

Email : katikuho@pref.fukui.lg.jp

↑ 家畜保健衛生所ホームページ <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kaho/index.html>

新所長挨拶および転入職員紹介

新所長挨拶

・葛城所長

4月から所長を命じられました葛城です。家畜保健衛生所は6年ぶりの勤務となります。畜産農家の皆様には日頃より家畜保健衛生所の事業にご協力いただきありがとうございます。家畜衛生をめぐる情勢につきましては、国内において高病原性鳥インフルエンザや豚熱の発生が継続しています。お隣韓国では口蹄疫やアフリカ豚熱が発生しており、日本への侵入も危惧されていることから、防疫対応には常に気を引き締めていく所存です。今後も引き続き畜産農家の皆様に信頼されるよう全職員が一丸となって事業を進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

転入職員紹介

今年度は生産指導課に1人、保健衛生課に3人の職員を迎えました。事務所でお会いすることや、農場に伺うことも多いと思っておりますので、気軽にお声がけください。どうぞよろしくお願ひいたします。

生産指導課

・元吉企画主査

事務職員として予算の経理や庶務などを担当しております。円滑に仕事をできるように一生懸命サポートすることで、結果として畜産農家の皆様に貢献できると思っております。

保健衛生課

・高塚主任

畜産試験場養豚養鶏グループから異動してきました。主な担当は家きんと蜜蜂になりますが、広く家畜の繁殖や病気について学び、お役に立てるよう頑張ります。

・吉田主任

定期人事異動により、家畜保健衛生所に異動してきました。
畜産農家の皆様の縁の下の支えになれるよう努力していきます。

・鈴木企画主査

今年度、奥越高原牧場から家畜保健衛生所へ異動してきました。
保健衛生課にて主に繁殖管理や ET 業務などを担当しております。
日々勉強して精進していきたいと思っております。



手数料納付方法の注意点

①手数料納付システム

パソコンやスマートフォンから家畜保健衛生所の HP にアクセスし、必要事項を登録してお支払いいただけます。
「tesuryo-system@pref.fukui.lg.jp」および
「no-reply@veritrans.jp」からのメール受信ができるように設定してください。

- ・クレジットカード
- ・コンビニ店舗にて現金払い
- ・インターネットバンキング
- ・ゆうちょ銀行や都市銀行など ATM 決済に対応している金融機関

※クレジットカード決済の場合、3D セキュア対応のカードのみ利用できます。事前にご自身でカード会社にご確認ください。4桁の暗証番号が必要な場合もありますので、併せてご確認ください。

The screenshot shows the homepage of the Fukushima Prefecture Veterinary Health Center. The page has a blue header with the text 'はじめに' (Introduction) and a main content area with a white background. A callout box with a black border and a white background points to the '手数料' (Fees) link in the navigation menu. The callout box contains the text: '福井県家畜保健衛生所 ホームページから「手数料」をクリックまたはタップ' (From the Fukushima Prefecture Veterinary Health Center homepage, click or tap 'Fees').

②キャッシュレス端末

家畜保健衛生所または農場にてキャッシュレス端末でお支払いいただけます。

- ・クレジットカード
Visa、MasterCard、JCB、AMEX、Diners、DISCOVER、銀聯
- ・電子マネー
交通系 IC (Suica、PASMO、ICOCA 等) 楽天 Edy、iD、WAON、nanaco、QUICPay
- ・各種コード決済
Alipay+、WeChat-Pay、銀聯、JKOPAY、PayPay、楽天ペイ、D 払い、au-PAY、J-Coin-Pay、メルペイ

※クレジットカードの 4桁の暗証番号を入力していただく場合がありますので、事前にご自身でカード会社に確認してください。各種決済の利用上限額が決まっている場合がありますので、ご注意ください。

③納付書

家畜保健衛生所が発行した納付書を受け取り、金融機関またはコンビニエンスストアにて現金納付してください。3連目「領収証書」と4連目「納入済証」が返却されますので、はさみで4連目「納入済証」を切り離し、家畜保健衛生所へ提出してください。

※「納付書受取時」と「納入済証提出時」の2回、窓口に来ていただくことになります。

「納入済証」を紛失した場合、再度支払っていただくことになります。大切に保管してください。

定期報告未提出の方へ

前号でもお知らせしましたが、家畜の所有者は、毎年1回、都道府県知事に飼養状況等についての定期報告を行うことが法律で義務付けられています(家畜伝染病予防法第12条の4)。

対象となる家畜 ※飼養頭羽数が1頭羽から提出が必要です。

牛、水牛、鹿、めん羊、山羊、馬

豚(ミニブタ、マイクロブタ等を含む)、いのしし、

家きん(鶏(ウコッケイ、チャボ等を含む)、うずら、あひる(アイガモを含む)、きじ、
だちょう、ほろほろ鳥、七面鳥)

家きん所有者の方には5~10月に自己点検報告をお願いしていますが、これとは別ですのでご注意ください。

定期報告の様式は家畜保健衛生所のホームページからダウンロードができます。

令和7年2月1日時点の定期報告がまだの方は、早急にご提出ください。

提出先 : 福井県家畜保健衛生所

提出方法: ①メール katikuho@pref.fukui.lg.jp

②FAX 0776(54)5966

③郵送 〒918-8226 福井市大畑町 69-10-1

また、インターネット上の農林水産省共通申請サービス(eMAFF)で、定期報告の電子申請も可能になっております。ご不明な点がある方は、家畜保健衛生所までお問合せ下さい。

韓国で口蹄疫が発生しました!

~ひとりの意識がみんなの財産を守ります~

2025年3月 韓国で1年10か月ぶりに口蹄疫が発生しました。

写真のような症状を発見したら家保に連絡!!...早期発見で感染拡大を最小限に抑えられます...



泡沫性流涎(よだれ)



口内のびらん



舌のびらん



乳頭の水疱

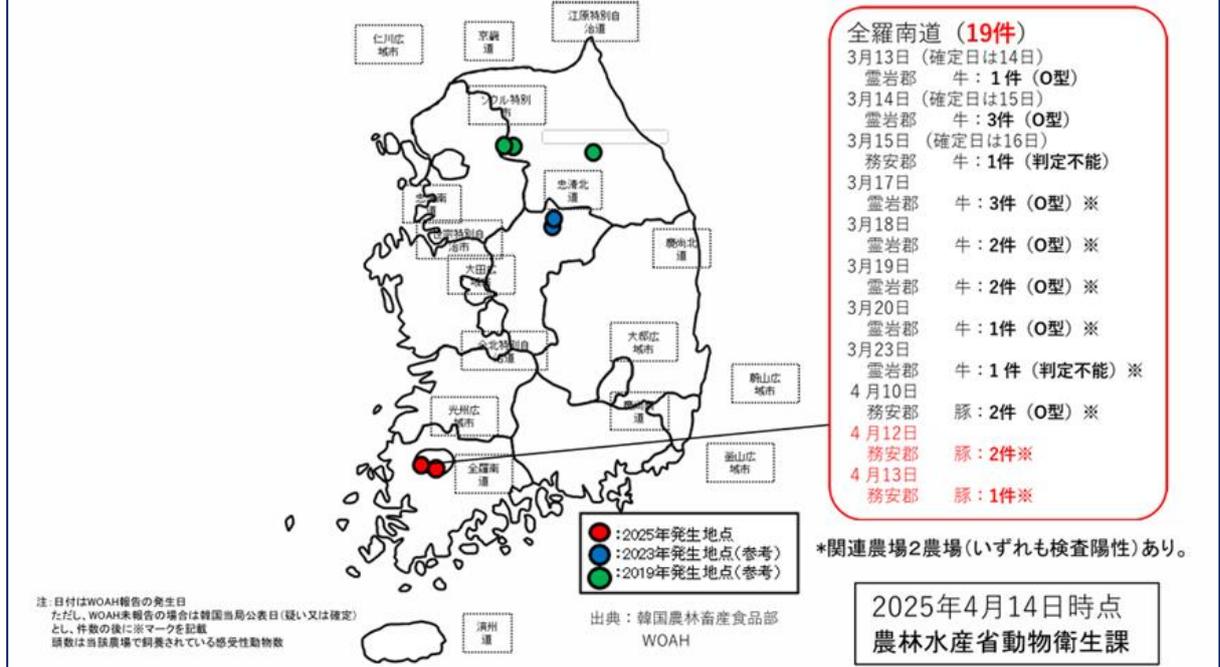


蹄の剥離(豚)



鼻の潰瘍(豚)

韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年4月14日時点）



国内発生から15年 日ごろの防疫対策をもう一度見直してみませんか？

- 看板等の設置で関係者以外の立入を制限しましょう
- 農場に入る際は専用の靴・衣服を着用しましょう
- 農場に入る際は手指を消毒するとともに、持ち込む物品や出入りする車両の消毒を徹底しましょう
- 畜舎の出入口に専用の靴と踏込消毒槽等を設置しましょう



逆性石鹼（パコマ、アストップ、クリアキル）**アルコール**は
口蹄疫ウイルスに**効果がありません!!**

(参考) 口蹄疫に効果があるとされている消毒薬

分類	商品名	最高希釈倍率
ヨウ素系消毒剤	クリンナップ A	400 倍
	ファインホール	400 倍
	バイオシッド 30	1000 倍
塩素系消毒薬	アンテックビルコン S	2000 倍
	クレンテ	2000 倍
	スミクロース	1000 倍
アルデヒド系消毒薬	グルタクリーン	800 倍
複合消毒薬	アリバンド	400 倍
水酸化ナトリウム添加消毒薬	クリアキル-100 (NaOH) 添加	2000 倍

国内で17年ぶりに馬インフルエンザが発生

4月8日、熊本県の馬（肉用の重種馬）飼養農場3戸で、4月25日には帯広市のばんえい競馬で馬インフルエンザ（以下、本病）の発生が確認されています。

* 馬インフルエンザとは *

法律上の分類：届出伝染病

病原体：馬インフルエンザウイルス

感染様式：感染馬の咳や鼻汁の飛沫を吸い込むことによって急速に広がります

症状：1～3日潜伏の後発症

発熱（40～41℃）

呼吸器症状（乾いた激しい咳、多量の水様性鼻汁）

治療法：対症療法のみ。多くは2～3週間で回復する。

予防法：不活化ワクチン



以下の対策を実施し、発生予防、早期発見および感染拡大の防止にご協力ください。

1. 発生予防

飼養衛生管理の徹底による発生予防に努めてください。また、馬を導入した場合は7日間ほど他の馬と隔離し、健康観察を行ってください。

2. 感染馬の早期発見

飼養している馬の健康観察を行い、症状を確認したときは、ただちにかかりつけの獣医師または家畜保健衛生所に連絡してください。本病が疑われる馬を発見した場合は、他の馬群との接触を避けてください。

3. 感染拡大の防止

本病が確認された場合は、感染馬の隔離、同居馬の移動自粛、厩舎および器具等の消毒を行ってください。

サシバエの対策について

令和6年11月に国内で初めて牛ランピースキン病が確認されました。原因のウイルスに感染する経路は、牛同士の接触、汚染された飼料等との接触および吸血昆虫による機械的伝播があります。特にサシバエは、24時間で20km以上移動できる飛翔能力、成虫になって1週間で産卵開始する繁殖能力（1回100～200個、生涯600個程度）、また、吸血後8日間ウイルスを感染力のある状態で持ち続けることが分かっており、まん延防止のため重要視されています。

サシバエは牛ランピースキン病の伝播以外にも、動物の落ち着きがなくなり、吸血部の痛痒さからくるストレスなどから生産性が低下し深刻なダメージを与えます。また、人も刺されるため作業への影響を及ぼします。

サシバエとは？

成虫大きさは雄 3.5～6.5 mm、雌 5～8 mm

針状のとがった口を持ち、雌雄共に栄養源として動物から吸血

発生の時期は秋（8月下旬から11月頃まで）

吸血活動は気温 15～30℃。35℃以上では涼しいところに移動

吸血時のみ動物に飛来し、夜間は牛舎の壁や牛舎付近の草や樹木にいる
繊維質の多い牛糞や堆肥を好んで産卵

卵から成虫まで平均 20 日（気温 26℃）成虫は平均 15 日間生きる

越冬は蛹の状態で行われる

1. 入らせない

○ 牛舎周辺の草刈、または、防草シートの設置

草むらは外部から侵入する際の中継地点や吸血後の休憩場所となります

○ 牛舎・堆肥場への防虫ネット設置

サシバエが飛ぶ高さは地面から 30 cm～2m ぐらいです。

地面から 2m 以上の高さまで張ります。窓や出入り口も忘れずに

ネットの網目の大きさ例

サシバエを通さないネット 2 mm 以下

サシバエが通る際に殺虫剤をつけるネット 6 mm



出典：農水省 HP 防虫ネット張り

2. 増やさない

○ こまめな糞

牛糞や堆肥に好んで産卵します。堆肥場、飼槽・水槽・ウォーターカップの下、牛舎内の柱やゲートの周辺、カーフハッチなどの子牛飼育施設周辺など水分の豊富な場所も清掃しましょう

○ 堆肥の適切な切り返して発酵を促進

40℃以上、水分 50% 以下でふ化率が激減します

○ 牛が踏みつけない場所や子牛の牛床に IGR 剤を散布

幼虫が多く生息する傾向がある場所に昆虫成長制御剤（IGR 剤）を散布して、ふ化を防止します



3. 成虫やっつける

- 牛舎の壁や柵などに薬剤を噴霧
- 粘着シート、捕虫器および粘着ロープを設置

* 薬剤が効かないサシバエをつくらないため作用機序の異なる殺虫剤をローテーションします
* 直接散布法（空中散布：動噴、送風機）もありますが最終手段です
* イエバエで行われる毒餌方法は効果がありません

4. 守る

- 駆虫剤含有のイヤータグを牛の耳に装着
放牧牛など、野外に放たれている牛をサシバエから守ります

薬剤は用法や用量を守り、牛体や生乳に残留しないように取り扱ってください

農林水産省ホームページから引用 サシバエ対策パンフレット（表・裏）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/attach/img/lzd-18.png>

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/attach/img/lzd-19.png>

虚弱子牛 と 胸腺

最近の病性鑑定事例として、死亡または衰弱して当所に搬入された子牛に胸腺の低形成を認めることが増加しています。本記事では、子牛における免疫の重要性と虚弱な子牛が生まれる原因、胸腺の役割、そしてその対策について紹介します。

子牛の免疫について－虚弱子牛はなぜ生まれるか－

子牛を健康に育てるためには、高い免疫力によって病原体の感染を防ぎ、下痢や肺炎などを防ぐことが重要です。子牛の免疫能は、①母牛の免疫グロブリンを豊富に含んだ初乳から得られる移行免疫、②子牛自身が産生する自己免疫によって成り立ちます。子牛の自己免疫は**胸腺**で産生され、胸腺の大きさが自己免疫の強さになります。**虚弱子牛では、胸腺が生まれながらに小さく免疫能が低い**ことが背景にあります。胸腺の小さな子牛が生まれる原因は、おもに妊娠期間における母牛の栄養が足りないことが関係しています。



虚弱子牛の見た目

胸腺の触れ方

首の下の胸腺を触れる際には、子牛を出来るだけ自然な状態で起立させ、手でやさしく触れることがポイントです。健康な子牛では、肩に近い下頸部を手で触れると、気管の両側に柔らかい胸腺を容易に確認することができます。生まれながらに虚弱な子牛は胸腺が小さく、手で触れても確認することができません。



胸腺の大きな健康な子牛にするために

最も重要なのは「**胸腺の大きな健康な子牛として産ませる**」ことです。そのために妊娠後期の母牛の栄養が重要です。妊娠期間(特に、分娩前 60 日間)に与える飼料中の**ビタミンと微量ミネラル、蛋白充足率を見直し、低下を改善する**ことで胸腺の小さな虚弱子牛の出生を予防することができます。虚弱子牛として出生した場合には、輸血による液性免疫の補填やアミノ酸製剤の給与が効果的であることが知られています。

参考 小岩政照「牛の内科実習第 106 回 虚弱子牛症候群」、臨床獣医 4 月号、第 29 巻第 4 号、平成 23 年 4 月 1 日、チクサン出版社

県内における主な家畜伝染性疾病の発生状況

畜種	病名	発生戸数	発生頭羽数 [※]
乳用牛	牛加ストリジウム・パルブリンゲンス感染症	1	1
	牛伝染性リンパ腫	1	1
肉用牛	牛加ストリジウム・パルブリンゲンス感染症	3	4
	牛大腸菌症	1	2
山羊	消化管内線虫症	1	1
	コクシジウム病	1	1

(令和7年1月1日～令和7年5月31日)

※病性鑑定を実施した頭羽数

閉庁日の死亡畜の受入れについて

感染症等による死亡が疑われ病性鑑定が必要な場合は、閉庁日(土日祝日および年末年始)に死亡畜の受入れを行います。

死亡畜を発見しましたら午前 9 時までに家畜保健衛生所に電話にてご連絡ください。職員が搬入の可否を判断し、搬入日時を調整してお知らせします。なお、閉庁日の受入れは午前中のみとさせていただきますのでご協力をお願いします。

ただし**口蹄疫、鳥インフルエンザ、豚熱等の家畜伝染病を疑う症状がみられた場合は早急に家畜保健衛生所までお電話ください**(担当職員に転送されます)。別途対応します。

<編集後記>

今年の夏も大変暑くなる予報です。暑熱対策を今のうちに行って、元気に夏を乗り切りましょう。家保だより 53 号の感想を右のアンケートより回答いただけますので、ぜひ、ご意見、ご感想をお寄せください。

<https://forms.office.com/r/9fBqyGZGDh>

